



## ソサエティ5.0時代に向けたまちづくり

経済発展が進み、人々の生活は便利で豊かになり寿命の延伸が達成されました。その一方で、経済のグローバル化によって国際的な競争が激化し、個人の能力や地域で享受できるモノ・サービス・情報に格差が生じてきています。このように、経済発展に相反して複雑化する社会課題は現在の社会システムでは解決が困難な状況になってきています。

そこで内閣府は、これまで人類が歩んできた社会（ソサエティ）、「ソサエティ1.0（狩猟社会）」「ソサエティ2.0（農耕社会）」「ソサエティ3.0（工業社会）」「ソサエティ4.0（情報社会）」に次ぐ新たな社会を「ソサエティ5.0（新しい社会）」と位置付け、我が国が目指すべき未来の姿として提唱しています。

新たな社会システム（ソサエティ5.0）で実現する社会では、これまで個別に機能していたモノ同士をIoT (Internet of Things …モノのインターネット) でつなげ、分野

の異なるシステム同士を連携させることで自動化の範囲が広がり、社会の至るところで新たな価値が生み出されます。また、人間の能力を超えるAI（人工知能）が、過去の膨大なデータを解析し、結果を人間にフィードバックすることで、必要な情報が必要な時に提供されるようになります。



本市におけるソサエティ5.0時代の行政課題の解決事例としては、次のことが考えられます。

- ①ドローンや自動運転を活用した買い物・移動支援による高齢者の負担軽減
- ②AIの医療診断や医療ロボットの医療・介護支援など地域医療の効率化
- ③ロボットによる農業・建設業の自動化や工場の効率化による人手不足の解消
- ④AIによる災害状況の迅速な把握、救助ロボットによる救助活動の迅速化

私は、ソサエティ5.0で実現される社会は、本市のような過疎地域の課題や慢性的なハンディを克服し飛躍する絶好の機会と考えています。早い段階から具体的な取り組みをしっかりと検討し、市民のみならずが安心して生活できるまちづくりをしていきます。